

平成 21 年度 第 1 回明石市都市景観審議会 議事概要

日 時	平成 21 年 11 月 2 日 (月) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 40 分
場 所	南会議室棟 1 階 103 会議室
出 席 者	安田会長、八木副会長、伊藤委員、茨木委員、辻委員、安谷委員

1. 開会 (10:00)

2. 公開・非公開の決定

会議の公開、非公開について審議し、公開と決定。

本日の傍聴希望者 2 名の旨、事務局より報告。〈傍聴者入場〉

3. 諮問

事務局より資料 1 ページの諮問書に基づき、その趣旨について説明した。

- ・前年度 3 月に実施した景観審での説明経過、今回改正に至った経緯（景観資源の変化、景観法制定になど社会的背景の変化への対応）、今回の改正基本計画のコンセプト（身近な景観への注目、わかりやすいものにする、新たな施策を展開する）について説明した。

4. 今後のスケジュール

事務局より資料 2 ページのスケジュール表を説明した。

5. 議事

(1) 審議事項

- ① 改定都市景観形成基本計画（素案）の概要について
事務局より資料 3 ページを説明した。

(各委員から出された意見、質問等)

【委員】

- ・改定の特徴及びポイントは何か。

(事務局回答)

- ・身近な景観に注目するという視点を重視した。生活景観を導入し、生活景観に溶け込む景観形成を目標とした。
- ・文章をわかりやすくした。写真やイラストを多用し、見やすいものにした。また、ストーリー性を持たせたものにした。
- ・新しい施策を導入することとした。第 5 章の「行動計画」において、新たな制度等（特に身近な景観に着目した行動計画）を導入した。

【委員】

- ・生活に溶け込む景観を導入するのに、一般市民を啓発する具体的な行動計画は何か。

(事務局回答)

- ・タウンウォッチングや景観ウォークを実施する。(それ以外で何か良い手立てがあれば導入していく予定である。)

【委員】

- ・今回「生活」というキーワードが挙げられているが、これについて類型にどのように反映されているのか。目に見えない景観をどう取り扱うのか。例えば景観活動そのものを明石の景観と捉えることができないのか。景観活動(例えばコミセン活動)も類型に入れてみてはどうか。

【委員】

- ・景観活動を計画の類型に入れて操作するのは、おかしくなるのではないか。それについては類型に入れるのではなく、推進地区の中で推進する基本的な考え方に入れるほうが良いのではないか。

【委員】

- ・「明石らしい景観」の一つとして、漁船の音があるが、これについて景観計画に入れるのか。

(事務局回答)

- ・音まで入れる予定はない。

【委員】

- ・本計画の地域別構想と都市計画マスタープランの地域別構想の整合性は図るべきである。
- ・空間としての景観から、場としての景観も考えるべきではないか。場の景観は、イベント・音・風の有無などにより感じられるが、それには、人々が心地良さを感じる場づくりが必要となるのではないか。このことを理念で明記するのが良いのではないか。類型においては、基本は物に着目し、推進していく基本的な考え方にアイデア(音や活動など)を入れて、そこに推進地区をかぶせた形で示してはどうか。

② 改定都市景観形成基本計画(素案)について(序章)

事務局より基本計画(素案)2ページから6ページを説明した。

(各委員から出された意見、質問等)

【委員】

- ・「1. 景観とは」、「2. 景観がもたらすもの」、「3. 今なぜ景観か」については、同じような投げかけとなっているので、まとめても良いのではないか。

【委員】

- ・景観が誰にとってのものなのか。外から明石を見る人（来外者）に対してのメッセージ色をもう少し濃くするべきではないか。市民へのメッセージしか示されていないような気がする。

【委員】

- ・明石のイメージをブランド化するようにしてはどうか。それには、空間からの景観から始まり、次に場としての景観、さらに都市のイメージ、という概念を何か示すとよいのではないか。
- ・序章は最後にまわすのがいいのではないか。論文の場合は、序章を先に書くのではなく、結論を書いてから序章を書くのが分かりやすくなる。1～3章を行ってから、一度、序章に戻るのも一つの方法である。

③ 改定都市景観形成基本計画（素案）について（第1章）

事務局より基本計画（素案）8ページから14ページを説明した。

（各委員から出された意見、質問等）

【委員】

- ・「1. 明石らしい景観」と「2. 明石の景観の背景」については、入れ替えたほうが良いのではないか。位置や気候など明石の概要を示した後に、明石らしい景観について示したほうがわかりやすい。

【委員】

- ・11ページから12ページにかけての地形の説明がわかりづらい。前段の「東西に細長い帯状」は、これは市域の説明であって地形ではない。地形の説明をするなら、「東播台地の端にあって、神戸のような山地の地形ではない」と表現するのが、東京の人には分かりやすい。また、後段の田園とため池については、明石特有のものではなく、東播台地特有のものであり、明石はその一部（東端）であることが正確な表現ではないか。さらに、中段で示されている海岸の浸食については、単に潮の流れだけではなく、土木技術の発展により、川からの土砂供給がなくなったことも一つの要因として考えられるのではないか。

【委員】

- ・2、3年程前に国土地理院が測地系を変えて、地球の測地系の変化によって、東経135度線が少しずれたそうである。一応把握しておいた方がいいのではないか。

【委員】

- ・市民だけに理解しやすい地図ではなく、東京や大阪の人にも明石の位置を理解してもらえる地図にしてはどうか。

【委員】

- ・「3. 明石を構成する4つの景観」については、2章に入れるべきではないか。また、2章の「1. 景観まちづくりの理念」は序章か1章に入れるべきではないか。2章では、明石の4つの景観のみを触れた方がわかりやすい。

④ 改定都市景観形成基本計画（素案）について（第2章）

事務局より基本計画（素案）15ページから19ページを説明した。

（各委員から出された意見、質問等）

【委員】

- ・最近「生活」・「産業」・「歴史文化」というテーマ別景観形成についてうたわれるようになった。例えば、今回の景観類型でうたっている「自然・田園」や「市街地」などについては、これらとの調和を目指すことを大きな目標として掲げて、そこで「生活景観」、「産業景観」、「歴史文化景観」をどうするのかを明記することも一つの考え方になるのではないか。
- ・都市計画マスタープランや長期総合計画との整合性は図るべきである。

⑤ 改定都市景観形成基本計画（素案）について（第3章）

事務局より基本計画（素案）20ページから44ページを説明した。

（各委員から出された意見、質問等）

【委員】

- ・景観類型でうたわれている「自然・田園地区」、「市街地」、「道路」、「河川」、「シンボル」の視点で全市の目標を設定し、「歴史・文化」、「産業」、「生活」のテーマ別に地域の景観形成方針を設定し、そこに推進地区を入れ込むのが良いのではないか。原案だと、各景観類型に推進地区が設定されていない状況となってしまうし、また明記箇所として分かりづらい。
- ・明石の眺望景観をどのように考えていくのか（明石城からの眺め等、例えば高層ビル等を規制していくのか。）が今後の課題となる。

【委員】

- ・田園・ため池空間で示されたレクリエーション空間の創出とは何か。
（事務局回答）
- ・池の堤などを利用した遊歩道やポケットパークの整備を想定している。

【委員】

- ・「明石らしい景観」といえば、たこや鯛などの漁業関係が挙げられるが、水産加工場などの写真をもっと掲載するべきではないか。

(事務局回答)

- ・水産加工場等は特色としては挙げられるが、景観という観点からすると、現状決して良好なものとは言い難いので、掲載するに相応しいとは捉えていない。

【委員】

- ・30 ページの歴史ゾーンについては、海辺ばかりではなく、清水や金ヶ崎など（旧山陽道沿い）も考慮してもよいのではないか。

【委員】

- ・可能であれば、推進地区として挙げられている地区の現地視察に行きたい。

【委員】

- ・23 ページで、景観資源についての方針が図示されているが、いきなりこの図がでてきて、これらを示すに至った判断、経過等がわからない。

【委員】

- ・海岸ゾーン等の景観で、「よろしくない景観」であるものをどのように修正していくのかということも示してはどうか。地区指定される所には、いろんな要素があり、その典型的なところを今回出されていると思うが、それらを阻害する要因があるならば、それをなくしていく方向性があっても良いのではないか。例えば、調和した建築デザインを誘導するのも効果があるのではないか。

【委員】

- ・12 ページの「明石の都市空間構成」については、西部も入れるべきではないか。

【委員】

- ・各類型の右上に示されている図（景観類型、景観スケールの判別）について、21 ページの類型イメージ図と不整合とならないか。例えば、景観スケールは、大景観か中景観か小景観かを示すべきではないか。

6. その他

○ 次回開催日について

- ・次回の審議会は平成 21 年 12 月 11 日金曜日の午後 2 時からを予定している。その際にはあらためて文書で連絡する。

7. 閉会 (11:40)